

第 10 回田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会

令和 5 年 4 月 23 日に第 10 回田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会が開催され、遠野支署からは 5 名参加しました。この大会は、猿ヶ石川の中間にあたる田瀬湖にたまっているゴミを遠野市、花巻市民に呼びかけ清掃活動を行うことで水資源や河川環境への関心を喚起し、連携と交流を深めることを目的に、毎年開催されています。ゴミ拾いの後に、拾いながら浮かんだ思いを川柳に詠むという、主催者によると世界で唯一のイベントです。

第 10 回となる今回は 83 名が参加して、天気はあいにくの曇天となってしまいましたが、参加者で手分けして拾ったゴミの量は約 670kg となりました。

私は 4 月に遠野に異動となったため今回が初めての参加ですが、想像以上にゴミが散乱しており、毎年のように掃除をしてもこんなにも多くのゴミがたまってしまうのかと驚きました。



現地にはカップ麺の容器、ペットボトル、包装トレイ、栄養ドリンクの瓶など、心ない人が捨てた様々なゴミが落ちており、残念な気持ちになりました。特に多く見られたのが発泡スチロールで、塊状の大きいものから細くなったものまで様々ありました。細かくなってしまった発泡スチロールはとても取り切れるものではなく、その多くが北上川を經由して太平洋まで流れてしまうのだと思いました。

最近ではマイクロプラスチックと呼ばれる微少なプラスチックゴミが問題となっています。今回拾いきれなかったゴミもマイクロプラスチックとなります。

これを減らすためには自分たちが日頃出すゴミを適切に処分するほか、木材などのバイオマス由来の環境に優しい製品を意識して使うことが改めて大事だと思いました。

ゴミ拾いの後にはゴミ拾いの最中に思い浮かんだ川柳を書いていきました。いくつかの言葉は思い浮かんでもなかなか 5・7・5 でまとめられず、苦労しながらも提出しましたが、残念ながら入賞とはなりません。結果発表の際入賞した川柳を聞くと非常に上手な川柳が多く、これでは自分が入賞しないなど実感しました。その中でも当支署職員から 1 人入賞者がでましたので、入賞した句を紹介させていただきます。

「プラ容器 分ければ資源 捨てるなよ」

事務管理官（管理担当） 佐藤